

評価シート

耐震	部位	壁	分類	開口型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-274	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
大壁「腰壁」裏棧あり					実験実施機関：名古屋工業大学				
概要	技術概要 開口を有しながら、大壁で腰窓上下の垂壁と腰壁を構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 開口部を有していても、腰壁、垂壁を補強する事により耐震補強が可能 一般流通品なので取り扱いが容易 						サンプル構面	—	
						設計見積り例	—		
適用範囲					写真・図				
構法		木造在来軸組工法							
規模		3階建て以下							
基礎、地盤		特になし							
適用部位		内外壁							
耐震性能									
評価仕様：大壁直貼仕様									
		壁基準耐力		壁基準剛性					
半間独立		2.08kN/m		292kN/rad/m					
連続片側		1.04kN/m		146kN/rad/m					
半間独立：A-111からの低減係数 $\alpha = 0.4$									
連続片側：A-111からの低減係数 $\alpha = 0.2$									
設計方法									
① 柱接合部による低減：取付部分が健全であること									
② 劣化による低減：取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
仕様	主要構成部材の仕様								
	構造用合板		大壁、厚12mm、各高さ400mm以上						
			釘 N50、CN50、@100mm以下、間柱打ち、四周打ち、端あき15mm以上20mm以下						
	間柱		三ツ割材以上、釘 N50、CN50 @100mm以下、間柱に対し上下受材勝ち						
	継手受材		なし						
	上下受材		奥行90×見付45mm以上、釘 柱・間柱に対し2-N75斜め打ち						
	四方受材		なし						
	下地材		なし						
	アルミアングル		なし						
	かさ上げ材		なし						
その他									
連続する垂壁、腰壁は、3mまでの壁を評価する。									
隣に無開口壁のある場合を除き、連続する2つ目からは、 $\alpha = 0.2$ とする。									
基本仕様		半間が連続		半間が3つ連続		腰窓連続+両側に無開口壁			
半間独立		半間連続		半間3連(柱あり)		半間連続両側			
 $\alpha = 0.4$		 $\alpha = 0.4, 0.2$		 $\alpha = 0.4, 0.2, 0.2$		 $\alpha = 0.4, 0.4$			